

2024年度 日本学生支援機構 給付奨学金・貸与奨学金(第一種・第二種) ＜在学採用・秋（二次採用）＞の申込について

奨学金の申込みには、①から④の手続が必要です。それぞれの期限までに手続や書類提出が完了しない者は、申込みを辞退したものとして取扱います。

給付奨学金に採用されると、支援区分に応じて授業料が減免されます。また、給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、第一種奨学金の貸与月額が調整されます（併給調整）。詳細は裏面を参照してください。【学部生のみ】

① 申込書類の提出（スカラネット ID・PW の交付） 提出期限 10月11日（金）

次ページ「提出書類一覧表」記載の申込書類（マイナンバー提出書を除く）を奨学係窓口（米子地区は学生係）提出してください。

※提出書類に不備がないことを確認後、②スカラネット入力用 URL・識別番号（ID・パスワード）を交付すると共に、「スカラネット入力下書き用紙」を一旦返却します。

②スカラネット入力（インターネット申込） 提出期限 10月16日（水）

①でスカラネット入力用 URL・識別番号を受領後速やかに、スカラネットにログインし、「スカラネット入力下書き用紙」に記入した内容を入力してください。（入力可能時間 8:00～25:00（土日含む））

※入力の際は、マイナンバー提出書に記載の申込 ID・パスワードも必要です。

③マイナンバー提出書の郵送 提出期限 スカラネット入力後 1 週間以内

②スカラネット入力完了後 1 週間以内に、日本学生支援機構へ送付してください。（緑色封筒参照）

④スカラネット入力下書き用紙の再提出 提出期限 10月22日（火）

①で一度返却した「スカラネット入力下書き用紙」を奨学係窓口（米子地区は学生係）へ再度提出してください。

以上で奨学金の申込みは完了です。

＜その後の流れ・予定＞

○選考結果決定（12月中旬頃予定）

選考結果が決まり次第、学務支援システム掲示及びメールにより結果をお知らせし、採用者へは奨学生証を交付します。なお、採用者への初回入金は12月11日の予定です。

○返還誓約書の提出（貸与奨学金のみ）

奨学生証と共に交付する「返還誓約書」等の作成・提出をしていただきます。

○自宅外通学を証明する書類の提出（【学部生】給付奨学金・自宅外通学者のみ）

アパート契約書や入寮許可書（コピー）等の証明書類を提出していただきます。

【注意事項】

- 申込内容及び提出書類に虚偽の事実が判明した場合は、採用決定後でも採用を取り消します。
- 提出された情報は、奨学金業務（返還業務を含む。）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、あなたの情報が日本学生支援機構、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。
- 提出書類や申込内容の確認のため、学務支援システムの学籍情報に登録の電話番号、メールアドレスに連絡をする場合がありますので、その際は対応をお願いします。

【連絡・照会先】

学生部学生生活課奨学係（共通教育棟B棟1階）

TEL 0857-31-5059・6776

E-mail st-syougaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

※米子地区は学務課学生係 0859-38-7100

給付奨学金について【学部生のみ】

《家計(収入)基準について》

家計(収入)基準は、日本学生支援機構が、提出されたマイナンバー等で学生と生計維持者の住民税情報を取得し判定を行います。2024年度秋の募集では2023年(1月1日～12月31日)の収入に基づく2024年度住民税情報で判定を行います。詳細については、給付奨学金案内のP9～11をご確認ください。

※「収入基準」については、日本学生支援機構のホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」(右のQRコード)で、収入基準に該当するか、おおよその目安として確認できます。

関連 HP: <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>



《給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額(併給調整)》

給付奨学金又は高等教育の修学支援新制度による授業料減免を受けている人が併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、給付奨学金の支援区分等に応じて第一種奨学金の貸与月額は下表のとおり調整されます。この場合、貸与奨学金の申込時に選択した貸与月額及び貸与中の月額から減額又は増額(併給調整といいます)されることがあるので注意してください。(給付奨学金案内:P18)

支援区分	第一種貸与月額(自宅通学)	第一種貸与月額(自宅外通学)
第Ⅰ区分	0円	0円
第Ⅱ区分	0円	0円
第Ⅲ区分	20,300円(25,000円)	13,800円
第Ⅳ区分	26,500円(20,000円、31,400円)	23,100円

※生活保護(扶助の種類を問いません)を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

《給付奨学金の支給額と授業料減免額》

給付奨学金の支給額および授業料減免額は以下のとおりです。

支援区分	通学形態	給付月額	授業料減免額(半期)
第Ⅰ区分	自宅	29,200円(33,300円)	267,900円
	自宅外	66,700円	
第Ⅱ区分	自宅	19,500円(22,200円)	178,600円
	自宅外	44,500円	
第Ⅲ区分	自宅	9,800円(11,100円)	89,300円
	自宅外	22,300円	
第Ⅳ区分	自宅	7,300円	67,000円
	自宅外	16,700円	

※生活保護(扶助の種類を問いません)を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

※支援期間中、毎年、家計基準による支援区分の見直し(適格認定(家計))が行われます。見直しの結果、10月分から奨学金の支給および授業料減免の支援が止まったり、支給額および授業料減免額が変わることがあります。(給付奨学金案内:P22・25 適格認定(家計))

提出書類一覧表（日本学生支援機構奨学金）

日本学生支援機構『2024年度在学者用 給付奨学金案内』【青色冊子】または『2024年度在学者用 貸与奨学金案内』【赤色冊子】をよく確認の上、以下の該当する提出書類をそろえ、提出してください。

※給付・貸与両方の奨学金に申し込む場合は、両奨学金の提出書類を提出する必要があります。

◎【全員必須】**給付奨学金（授業料減免【新規】）** ・ **貸与奨学金** 共通

提出書類	入手方法	注意事項
通帳またはキャッシュカードのコピー		口座名義人、口座情報が記載されている面をコピーしてください。
提出書類チェックシート	別添様式 【共-①】	提出書類について、チェックシートで確認をしてください。
<p>※「マイナンバー提出書」を【スカラネット提出後1週間以内】に日本学生支援機構に提出する必要がありますので、別途ご準備ください。（大学窓口への提出は不要です。） 「マイナンバー提出書」の提出書類、方法等の詳細は別添の【緑色封筒】を確認してください。</p>		

◎ **給付奨学金（授業料減免【新規】）**を申し込む場合

提出書類	入手方法	注意事項
給付奨学金確認書	給付奨学金案内(青色) 付属	・本人住所欄には現住所（鳥取市などの住所）を記入してください。 ・訂正箇所は二重線で訂正してください。
スカラネット入力下書き用紙 【給付奨学金（貸与同時申込み用）】		・別添「スカラネット入力下書き用紙 記入上の注意」参照
学修計画書	別添様式 【給-①】	学業成績（学修意欲）の判定に利用します。（給付奨学金案内:P8） ※パソコンで入力し、印刷したもので問題ありません。

◎ **貸与奨学金**を申し込む場合

提出書類	入手方法	注意事項
確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書	貸与奨学金案内(赤色) 付属	・本人住所欄には現住所（鳥取市などの住所）を記入 ・訂正箇所は二重線で訂正してください。
スカラネット入力下書き用紙 【貸与奨学金のみ申込み用】		別添「スカラネット入力下書き用紙 記入上の注意」参照 ※給付奨学金も併せて申し込む場合は、給付奨学金案内に付属の、 【給付奨学金（貸与同時申込み）用】を使用してください。

※書類提出後、一定の学業基準に該当する方には、追加で「学修計画書」の提出をお願いする場合があります。

○その他該当する場合に提出する書類 **※該当する事項があれば併せて提出してください。**

事項	提出書類
申込者(学生)本人が外国籍	給付奨学金案内【青色】P.22または貸与奨学金案内【赤色】P.32の表を参照のうえ必要書類を提出してください。
申込者(学生)本人が児童養護施設等に入所していた など	
マイナンバーを提出できない生計維持者	
海外に居住している生計維持者	
※（給付奨学金のみ）自宅外通学者は、 採用決定後に 自宅外通学証明書類を提出いただきますが、申込時は提出不要です。	

スカラネット入力下書き用紙 記入上の注意

スカラネット入力下書き用紙は、『給付奨学金案内』または『貸与奨学金案内』の「第2部 申込手順等」と下書き用紙記載の注釈のほか、以下の事項に注意して記入してください。

◆申し込む奨学金により使用する下書き用紙と記入箇所が異なります。

給付奨学金のみに申し込む	→	給付奨学金案内に付属する青色の下書き用紙を使用し、青色部分の項目を記入
給付と貸与両方の奨学金に申し込む	→	給付奨学金案内に付属する青色の下書き用紙を使用し、青色+グレー部分の項目を記入
貸与奨学金のみに申し込む	→	貸与奨学金案内に付属する赤色の下書き用紙を使用し、赤色部分の項目を記入

◆各項目の記入について、以下の点にご注意ください。

識別番号入力

・申込書類の提出時には記入不要です。※提出書類を確認後、識別番号（ユーザID・パスワード）をお渡しします。

奨学金学種（学校）の選択

・課程は「大学」と記入し、(1) **定期採用** にチェックしてください。

確認書兼同意書の提出

・「提出しました」にチェックしてください。申込時に提出していただきます。

①—あなたの氏名・誓約情報

・誓約日はスカラネット入力日ですので、申込時は記入不要です。

③—あなたの在学情報

・(3) 農学部、医学部の場合は以下のように記入してください。

農学部	生命環境農学科	→	農学部（獣医学科以外）
	共同獣医学科	→	獣医学科
医学部	医学科	→	医学部医学科、医学専門学群
	生命科学科	→	医学部生命科学科
	保健学科（看護学専攻）	→	医学部保健学科（看護専攻）
	保健学科（検査技術科学専攻）	→	医学部保健学科（看護以外）

- ・(4) 「いいえ」にチェックしてください。保健学科の専攻は“専攻科”ではありません。
- ・(6) 「昼（昼夜開講含む）」にチェックしてください。
- ・(8) 休学・留年等をした場合は、現在の卒業予定期を記入してください。
- ・(9) 「4年0か月」または「6年0か月（医学科・共同獣医学科のみ）」を記入してください。
- ・(10) 大学ホームページ等記載の郵便番号ではなく、以下の郵便番号を記入してください。
鳥取キャンパス 〒680-0945 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目 101番地
米子キャンパス 〒683-0826 鳥取県米子市西町 86

④—奨学金給付額情報 ※給付奨学金を申し込む場合のみ

- ・(1) 「いいえ」にチェックしてください。
- ・(2) 「支援を受けておらず受ける予定もない」にチェックしてください。

⑥—あなたの履歴情報

・1. 「高等学校」、「高等専門学校」等と記入してください。個別の学校名は記入不要です。

⑧—貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

・(4) 現住所は、現在お住まいの住所（鳥取市や米子市など）を、アパート名、部屋番号まで記入してください。

⑨—あなたの家族情報

・2. (2) 生計維持者①および(3) 生計維持者②は、「マイナンバー提出書」に記載する生計維持者①および生計維持者②と同一にしてください。

⑩—家庭事情情報

・全員が必ず記入してください。内容をパソコンで作成し印刷したものを添付しても構いません。

日本学生支援機構奨学金申込 提出書類チェックシート

提出前に各項目を再度チェックし、他の申込書類と共に提出してください。

学生番号		氏名	
------	--	----	--

★申し込む奨学金にチェック → 給付奨学金 貸与奨学金 給付・貸与両方

◎【全員必須】給付奨学金・貸与奨学金共通

提出書類	確認項目	チェック欄
通帳または キャッシュカードの コピー	本人名義ですか	
	「金融機関名」「支店名」「口座番号」が記載された箇所をコピーしていますか	
マイナンバー提出書	マイナンバーを日本学生支援機構に送付する準備はできていますか（大学への提出は不要）	

◎給付奨学金

提出書類	確認項目	チェック欄
給付奨学金確認書	「マイナンバー提出書に記載のID」「生計維持者」欄に記載していますか	
	本人住所は現住所（鳥取市や米子市などの住所）ですか	
	訂正箇所は二重線で訂正していますか（修正テープの使用は不可）	
スカラネット入力下書き用紙 【青色】	青色箇所に必要事項を記入しましたか	
	【給付・貸与両方を申込みの場合】 青色箇所に加え、グレー色箇所に必要事項を記入しましたか	
	「⑨あなたの家族情報」で記入した生計維持者①②とマイナンバー提出書に記入した生計維持者①②は同一ですか	
学修計画書	ボールペンで記入していますか	

◎貸与奨学金

提出書類	確認項目	チェック欄
確認書兼個人情報の取扱いに関する同意書	本人住所は現住所（鳥取市や米子市などの住所）ですか	
	訂正箇所は二重線で訂正していますか（修正テープの使用は不可）	
スカラネット入力下書き用紙 【赤色】	【貸与のみ申込みの場合】 赤色箇所に必要事項を記入しましたか	
	【給付・貸与両方を申込みの場合】 下書き用紙は、【赤色】のものではなく、【青色】のものを使用していますか	
	「⑨あなたの家族情報」で記入した生計維持者①②とマイナンバー提出書に記入した生計維持者①②は同一ですか	

大学等への修学支援の措置に係る学修計画書

学生番号		学生氏名	
学部・学科・学年	学部	学科	年

1. 学修の目的（将来の展望を含む。）

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。次の（１）から（３）を参考にしつつ、その内容を記述してください。（200～400文字程度）

- （１） 将来に就きたい職業（業種）があり、その職業（業種）に就くための知識の修得や資格を取得するため。
- （２） 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- （３） 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。（200～400文字程度）

Blank area with horizontal dashed lines for writing.

3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。“全うしようとする意志がある”の項目に✓をした上で、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。

- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。
- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

Blank area with horizontal dashed lines for writing.

※以下の設問は2年次以上在学生のみに記入してください。

4. 履修した授業科目における授業への出席率について、該当するものに✓を記入してください。

- 授業の出席率について、8割を超えている。
- 授業の出席率について、5割を超えているが8割以下である。(警告要件)
- 授業の出席率について、5割以下である。(廃止要件)

注) 記述しきれない場合には、別紙に記述のうえ添付してください。

以下、教職員記入欄

総合判定結果

1.から3.を総合的に考慮して、在学中の学修意欲等が認められるかを判定した結果、

- 在学中の学修意欲等があると認められる。
- 在学中の学修意欲等があるとは認められない。

【記入例】 1～3の記述欄は適宜広げても構いません。（書ききれない場合は別紙としても構いません）

学生番号	B23T1234X	学生氏名	鳥大 太郎
学部・学科・学年	工 学部	〇〇〇〇 学科	1 年

1. 学修の目的（将来の展望を含む。）

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。次の(1)から(3)を参考にシテ、その内容を記述してください。（200文字以上）

2023年4月時点の学年

- (1) 将来に就きたい職業（業種）があり、その職業（業種）に就くための知識の修得や資格を取得するため。
- (2) 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- (3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

在籍している学部・学科を選んだ理由や、将来なりたい職業がある方は、その理由とその職業に就くために必要と考えられる授業科目などを具体的に記述してください。（具体的な職業等がない場合も“将来こんな風に働きたい”など） 200文字以上

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。（200文字以上）

これまでに履修した授業の講義内容、講義を受けて自分なりに考えたこと、今後履修したい授業科目や分野などについて、自分から積極的に学ぶ意欲を持って、授業を真面目に受けていることが伝わるように記述してください。 200文字以上

3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。“全うしようとする意志がある”の項目に✓をした上で、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。（200文字以上）

- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。
- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

「卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある」にチェックをし、上記1及び2を踏まえて、記述してください。 200文字以上

例文

私の家はあまり裕福ではないですが、両親は、毎日遅くまで働いて、そのお陰で、私は大学に進学できました。そのことに感謝するとともに、大学においては、単位を取得するだけでなく、自分の夢に向かって、一つでも多くの知識を吸収していきたいと考えています。外国語の授業など、苦手な必須科目もありますが、社会に出てから役立つものなので、今まで以上に真剣に取り組んでいきたい。また、〇〇〇〇の講義は、私の目指す●●●（職業など）に必須のものであるため、しっかり学んでいきたい。

※以下の設問は2年次以上在学生のみに記入してください

4. 履修した授業科目における授業への出席率について、該当するものの口を■にしてください。

- 授業の出席率について、8割を超えている。
- 授業の出席率について、5割を超えているが8割以下である。（警告要件）
- 授業の出席率について、5割以下である。（廃止要件）